



# 数学

「わかる!」楽しさを味わおう



数学の面白さは大きく分けて2つあると思います。

1つは、なぜ、そうすれば解けるのかを考えること。つまり公式の成り立つ理由を考えることです。1つ線を加えるだけで、あるいは数字を2つに分ける(たとえば5を2と3に分ける)だけで公式が理解できたりします。

2つめは、どの公式(解き方)をどの場面で使うかを考えることです。ゲームに例えるとこの場面ではどのアイテム使うのかを考えることに似ていると思います。

クリアできなかった場面がクリアできる達成感と同じようにわからなかった問題が分かった時の面白さを楽しんでほしいと思います。

## 数学の実力を伸ばすために

解き方、いわゆるテクニックを理解し数多く身につけることは必要ですが、前述したように、『この問題ではどのテクニックを用いたらいいのか』を考える力が必要になってきます。

また、失敗したらあきらめるのではなく、別の解き方でチャレンジする根気とあきらめない気持ちが必要となってきます。これから先の人生で多くの課題や困難にぶつかることでしょう。その時にどう考えるか? 何から考えていけばいいのか? あきらめずにいろんな方法を考え、試す力と似ているように思います。

わからない問題に出くわした時こそ、そのような力をつけるチャンスが来たと考えてほしいと思います。

また、積極的に質問をしてほしいと思います。質問をするためにはある程度その問題を考えていなければなりません。数学だけでなく、わからないことをそのままにしないという力も身につけてほしいと思っています。



# こうやって学習しよう!!

まずは、**解き方を理解すること。公式の成り立ちの意味を知ることが大切です。**そして、その解き方を身につけることが最初の第1歩です。身につけるには近道などなく、**反復練習しかありません。**始めから数学のできる人はいません。数学の得意な人は反復練習が多いからこそ身につけているのです。

次に工夫が必要な問題(いわゆる応用問題)にチャレンジしてください。この工夫を考えることで色々な解き方を思い出させ、**数学の力を身につけていくことになる**と思います。



3年間で学習する量はたくさんあります。一度身についたからといって、ずっと覚えていれるものではありません。**忘れたところにやり直す。**つまりは**復習を中心に家庭学習の習慣をつけるべきだ**と思います。具体的には習った1週間後に同じプリントや問題に取り組むといいと思います。また、わからない人に教えると教えた人はそう簡単には忘れません。ぜひ試してください